

POWER SUPPLY INSTALLATION

弊社電源ユニットをご利用頂き、誠に有難う御座います。弊社電源ユニットを取り付ける前に、お使いのパソコンケース、マザーボードの説明書を併せてご覧になったうえで、この取り扱い説明書をお読みにになり正しく接続してください。

※全てのコネクタは無理に差し込まない限り、間違った方向では差し込みが出来ないように設計されていますが、互換性のあるデバイスについては簡単に接続出来るように設計をされています。取り付けの際は、ケーブルの種類、コネクタの向きが正しい方向に差されているかを確認しながら行ってください。

※本マニュアルで使用している写真・イラスト等は、イメージになります。

【本製品を取り付ける前に】

本製品の取り付けの際は、作業スペースの確保及び、別途作業手袋等をご留意頂くことをお勧めします。

注意点など

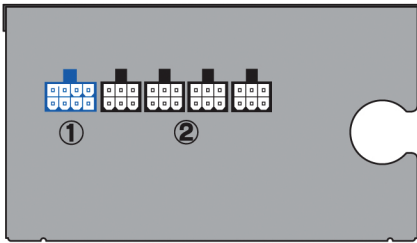
【取り扱い上の注意】

- 本製品及び付属部品の保管につきましては、小さなお子様の手の届かないところに保管をお願いします。
- 取り付けの際には、本製品及び、PC内部の突起によるケガにご注意ください。
- 付属のケーブルは本電源専用品になりますので、他の製品には使用しないでください。
- 危険ですので外蓋カバーを外したり部品交換等をしてしないでください。

プラグインコネクタ(プラグインモデルの場合)

各プラグインコネクタにはピン数及びコネクタ形状が同一のものを必ず接続して下さい。誤った接続による故障は保証対象外となります。ご使用する本数のみ接続して下さい。

- プラグインモデル 600 / 750W
- ①PCI-EXPRESS コネクタケーブル用
 - ②Serial ATA & FDD & Driver コネクタケーブル用

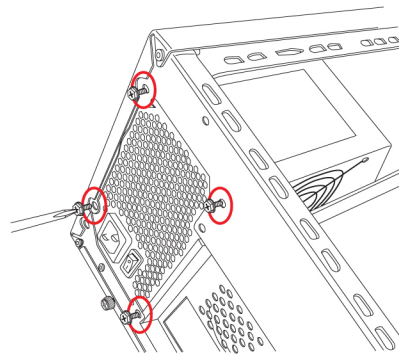


※差し込み口の形状や向きを確認してから、ケーブルを差し込んでください。無理に差し込んだり、違う場所に差し込んだりすると機器が破損する恐れがありますのでご注意ください。

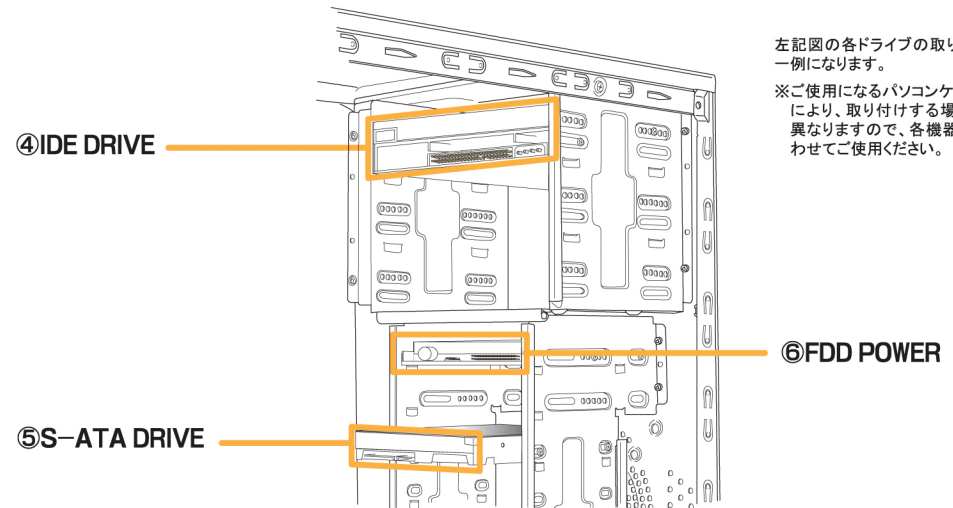
ケースへの取り付け

電源ユニットをケースの所定の場所に置き、ネジ止めしてください。

※ご使用になるパソコンケースによって電源ユニットを取り付ける場所が違いますので、パソコンケースに付属されているマニュアルを参照ください。



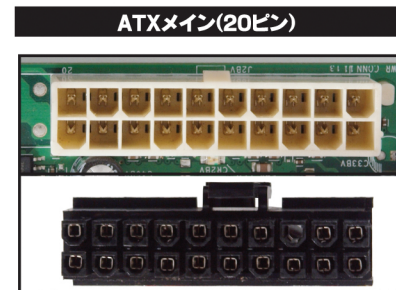
各機器への取り付け IDE DRIVE / S-ATA DRIVE / FDD POWER



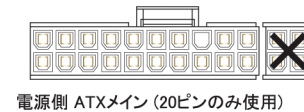
左記図の各ドライブの取り付け位置は一例になります。

※ご使用になるパソコンケース・各機器により、取り付けする場所や方法が異なりますので、各機器の仕様に合わせてご使用ください。

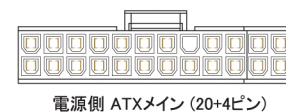
① ATXメイン



マザーボード側のATXメインコネクタが20ピンの場合



マザーボード側のATXメインコネクタが24ピンの場合

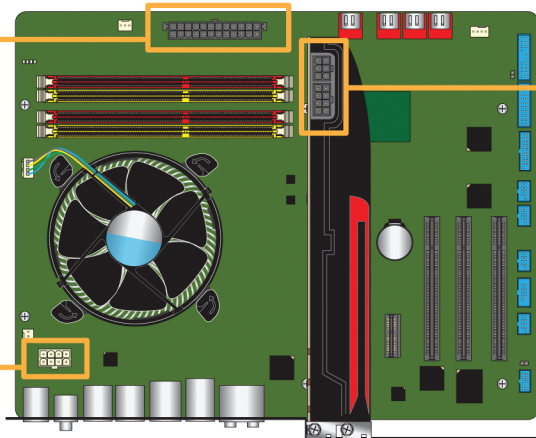


ケーブルが分割し、20ピン及び24ピンマザーボードに対応出来ます。

※20ピン対応マザーボード使用時は、分割時の4ピンケーブルを使用しないで下さい。他の場所に差し込みますと機器が破損する恐れがありますのでご注意ください。

各機器への取り付け マザーボード / グラフィックスボード

①ATXメイン

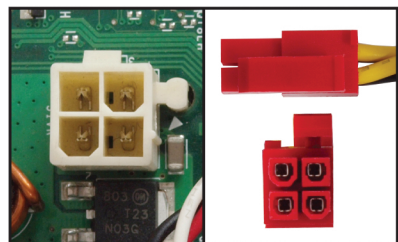


②ATX12V/EPS12V

③PCI-E グラフィックスボード

② ATX12V / EPS12V

ATX12V(4ピン)



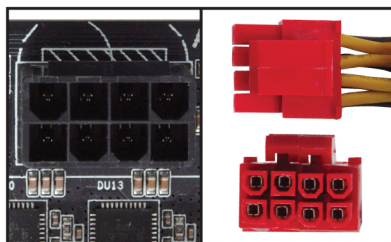
マザーボード側のATX12V (4ピン) コネクタ形状



電源側 ATX12V (4ピンのみ使用)

- ATX12V対応マザーボードを使用する際は、コネクタにATX12V(4ピンのみ使用)を差してください。
- EPS12V対応マザーボードを使用する際は、コネクタにEPS12V(4+4ピン)を差してください。
- ※グラフィックスボード(PCI-E)へ差し込みますと、グラフィックスボードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

EPS12V(4+4ピン)



マザーボード側のEPS12V (8ピン) コネクタ形状



電源側 EPS12V (4+4ピン)

④ IDE DRIVE / ⑤ S-ATA DRIVE / ⑥ FDD POWER

IDE DRIVE



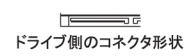
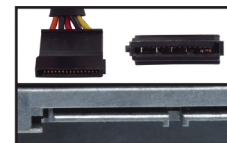
ドライブ側のコネクタ形状



電源側 パリフェラル4ピンコネクタ



S-ATA DRIVE



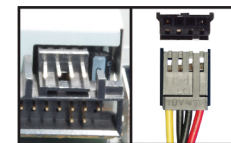
ドライブ側のコネクタ形状



電源側 Serial-ATAコネクタ



FDD POWER



FDD側のコネクタ形状



電源側 FDD Powerコネクタ

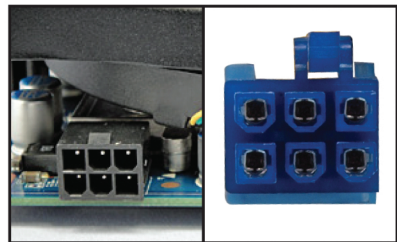


IDE、Serial ATA機器(HDDやCD-ROMドライブ等)にドライブケーブル、Serial ATAケーブルを差し込んでください。
ご使用になる電源の種類によってコネクタの差し込み口数やコネクタソケット形状が異なります。
※差し込み口の形状や向きを確認してから、ケーブルを差し込んでください。無理に差し込んだり、違う場所に差し込んだりすると機器が破損する恐れがあります。

FDD(フロッピードライブ)用電源コネクタ搭載機器にFDD Powerケーブルを差し込んでください。
※逆差しやピンがずれた状態での接続をしないように気を付けてください。機器が破損する恐れがありますのでご注意ください。
※決してマザーボードには接続しないでください。

③ PCI-Eグラフィックスボード

PCI-Eグラフィックスボード(6ピン)

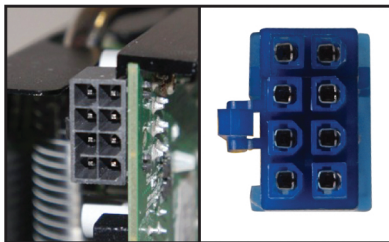


グラフィックボード側の電源コネクタが6ピンの場合



電源側 PCI-E (6ピン)

PCI-Eグラフィックスボード(6+2ピン)



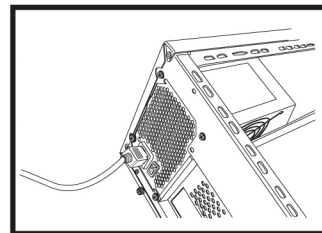
グラフィックボード側の電源コネクタが8ピンの場合



電源側 PCI-E (6+2ピン)

- ※ボードの種類によっては、グラフィックボード電源コネクタが8ピンの物や、コネクタ自体が無い物があります。
- ※マザーボードのATX12Vコネクタ、EPS12Vコネクタには差し込まないでください。マザーボードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

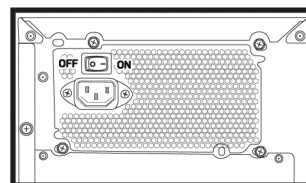
ケーブル接続



ケーブル接続

端子の形状、向きを確認の上、電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
接続が不完全ですと、パソコンが起動しなかったり、機器が破損する恐れがあります。

パソコン起動



パソコン起動

電源ケーブルの接続が完了したら、再度コネクタ類の接続を確認し、電源ユニット背面のパワースイッチを「ON」に切り替えてから、パソコンケースのパワースイッチを押し、パソコンを起動させてください。

FAQ

- Q ATXメイン(20+4ピン)のコネクタで線が1本欠けている**
 - A ピン番号20番(-5V)用の配線は現行の規格では不要とされているため、除外されておりますので問題ありません。
- Q 電源背面の主電源をONにしても電源内部のファンが回らない**
 - A 本製品の内部ファンは各種配線後に主電源をONにし、PCケースのパワースイッチを押してはじめて動作する仕様となります。
- Q パソコンは動いているのに、電源内部のファンが回らない**
 - A 本製品は、約250~300W程の負荷よりファンが回転し始める仕様となっております。低負荷時にはファンを回転しない、静音ファンレス状態で電源は稼働します。(※PC内外の環境により回転開始の負荷が前後する場合がございます)
- Q パソコンをシャットダウンしたのに、電源内部のファンが回っている**
 - A 本製品は、シャットダウン後に放熱の為、数十秒間ファンが回転します。
- Q OAタップ等を使用してもよいのか**
 - A OAタップをご利用になった場合、供給電圧が不安定になる恐れがございますので、直接壁側のコンセントにACケーブルを接続されることをお勧めします。
- Q 電源内のファンの向きはどちらを向くのが良いのか**
 - A PCケースのレイアウトに従う形にてお取り付けください。但し、吸気のためのスペースが最低3cm以上空けて頂くことをお勧めします。
- Q 組み込み後のPCの設置場所はどこでも良いのか**
 - A 電源背面より排熱されますので、熱がこもるのを防ぐため可能な限りスペースを確保して頂くことをお勧めします。弊社の推奨は30cm以上となります。
- Q BIOS上で12Vの電圧が11.90Vしか出ていないが、不具合ではないのか**
 - A PowerSupplyFormfactorsの定める電圧の規定範囲が+3.3V / +5V / +5VSB / +12Vが「±5%」、-12Vが「±10%」になりますので、範囲内の電圧出力であれば正常動作となります。

規定範囲: +3.3V(±5%)	→	3.13~3.46V
+5V(±5%)	→	4.75~5.25V
+5VSB(±5%)	→	4.75~5.25V
+12V(±5%)	→	11.4~12.6V
-12V(±10%)	→	10.8~13.2V